

科 目 名	課題探究	普通科・理数科必修 2年次・2単位
目 標	自ら見出した課題に対して仲間と協働して自律的に調査研究活動を行い、結論を導き出す。研究成果を論文やポスターにまとめ、生徒研究発表・交流会でプレゼンテーションを行う。	
位 置 づ け	1年次「探究基礎」において発見した研究課題について、地域や大学等とも連携して調査・研究活動を行う。研究活動の成果を生徒研究発表・交流会において発表し、論文やポスターにまとめることで研究活動に必要な実践的な力を身につける。	

■使用する教材 ・リサーチノート ・自作プリント ほか		■学習する単元とおおよその時期 ・調査・研究活動【4～11月】 ・校外活動【6月・9月】 ・課題探究中間報告会【10月】 ・生徒研究発表・交流会【12月】 ・課題発見・解決能力テスト【1～3月】 ・個人論文作成【1月】	
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 毎回の授業等における活動を「リサーチノート」に記録し、アドバイザーとの面談で研究の進捗状況を確認しながら調査研究活動を進める。毎回の活動状況とポスターや個人論文などの成果物、プレゼンテーションを評価する。 グループやゼミ内での活動では、お互いに協力し、積極的に意見交換・議論をする。研究を進めるために必要な情報や資料を収集し、大学や専門機関、自治体や企業と積極的に連携することを推奨する。また、研究成果を学会や科学コンテスト等、外部での発表を推奨し、その実績を評価する。			

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 正しい現状把握から課題見だし、解決のための仮説を立て、根拠を示して適切に検証し、結果を多面的・客観的に分析・解釈して結論を導くことができる。	結論から得られたことを活用し、新たな課題を見いだすことができる。また研究成果を文章や図表を用いるなど適切な工夫をして説明し、論理的に議論することができる。	研究計画を立て、内外の様々な人と連携しながら適切に運営し、自らが果たすべき役割を見出し貢献することができる。異文化や多様性を理解しようと相互理解に努め、マナー・モラルを守り目標達成に向けて粘り強く挑戦することができる。
	B 課題見だし、解決のための仮説を立て、適切に検証し、結果を分析・解釈して結論を導くことができる。	結論から得られたことを活用することができる。また研究成果を説明し、議論することができる。	研究計画を立て適切に運営し、貢献することができる。異文化や多様性を理解しようとし、マナー・モラルを守り目標達成に向けて挑戦することができる。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	活動状況・研究内容・発表・論文やポスター等の成果物	研究内容・発表・論文やポスター等の成果物・課題発見・解決能力テスト	活動状況・研究内容・発表・論文やポスター等の成果物・外部発表等の実績

